

別紙

ニーズ調査票【就学前児童・小学生保護者】調査項目（案）

◀凡例▶

国調査票(例)における必須の質問項目

国調査票(例)における任意の質問項目

国の調査票(例)にない独自の質問項目

大項目	設問内容		分析の視点、項目設定の目的、活用方法	国の調査票	就学前		小学生	
					No.	前回	No.	前回
居住地域	居住地区		回答者の属性 町別・地域別の分析	必須	7	○	1	○
お子さんとご家族の状況	子の生年月 学年		お子さんの年齢別 学年別の分析	必須	1	○	2	○
	兄弟数・末子の生年月			任意	2	○	3	○
	回答者の続柄		ニーズ量（家庭類型）算出に活用	必須	5	○	6	○
	回答者の配偶関係（両親の状況）		ニーズ量（家庭類型）算出に活用	必須	3	○	4	○
	家族構成			—	4	○	5	○
	子育てを主に行っている者の続柄		父親の育児参加の状況	必須	6	○	7	○
子どもの育ちをめぐる環境	日頃、子をみてもらえる親族・知人		身近な支援者の有無 一時預かり、病児・病後児保育、家事育児訪問支援の利用ニーズの把握に活用	任意	8	○	8	○
	付問	祖父母等の親族に見てもらう際の状況		任意	8-1	○	8-1	○
	子育てを相談できる人・場所の有無		相談者の有無	任意	39	○	28	○
	付問	相談先	相談相手の把握。公的機関の活用状況を把握	任意	39-1	○	28-1	○
	公的な相談窓口が利用しやすいか		現状把握	—	40	○	29	○
	付問	利用しにくい理由	現状把握	—	40-1	○	29-1	○
保護者の就労状況	母親の就労状況		ニーズ量（家庭類型）算出に活用	必須	9	○	9	○
	付問	就労日数・就労時間	ニーズ量（家庭類型）算出に活用	任意	9-1	○	9-1	○
	父親の就労状況		ニーズ量（家庭類型）算出に活用	必須	10	○	10	○
	付問	就労日数・就労時間	ニーズ量（家庭類型）算出に活用	任意	10-1	○	10-1	○
	母親のフルタイムへの転換希望		ニーズ量（家庭類型）算出に活用	必須	9-2	○	9-2	○
	父親のフルタイムへの転換希望		ニーズ量（家庭類型）算出に活用	必須	10-2	○	10-2	○
	母親の就労希望		ニーズ量（家庭類型）算出に活用	必須	9-3	○	9-3	○
	付問	希望の就労形態	ニーズ量（家庭類型）算出に活用	必須	9-4	○	9-4	○
	父親の就労希望		ニーズ量（家庭類型）算出に活用	必須	10-3	○	10-3	○
	付問	希望の就労形態	ニーズ量（家庭類型）算出に活用	必須	10-4	○	10-4	○
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	利用の有無		教育・保育事業ニーズ量算出に活用	必須	11	○		
	付問	定期的に利用している事業	教育・保育事業ニーズ量算出に活用	必須	11-1	○		
	付問	利用頻度・利用時間（現在/希望）	教育・保育事業、時間外保育ニーズ量算出に活用	必須	11-1	○		
	付問	（非利用者）利用していない理由	現状把握 利用したいのに利用できていない人の理由を把握	任意	11-2	○		
	利用を希望する事業		教育・保育事業ニーズ量算出に活用	必須	12	○		
	付問	利用したい時期	0～2歳の利用希望の調整に使用	—	12-3	○		
	付問	利用したい場所	利用希望の把握 居住地区との関係性を分析	任意	12-2	○		
	付問	特に幼稚園の利用を強く希望するか	教育・保育事業ニーズ量算出に活用	必須	12-1	○		
	付問	事業の選択に重視する点	現状把握 事業に求められるものの把握	—	12-4	○		
地域の子育て支援事業の利用状況	子育て支援センターの利用状況・頻度		地域子育て支援拠点事業ニーズ量算出に活用	必須	22	○		
	子育て支援センターの利用希望		地域子育て支援拠点事業ニーズ量算出に活用	必須	23	○		
	市の子育て支援事業の認知状況/利用状況/利用意向		現状把握	任意	21	○	16	○
	「すくすく」の利用経験		現状把握	—	24	○		
	子育て支援センター・すくすくを利用している理由		現状把握	—	25	○		
	子育て支援センター・すくすくを利用していない理由		現状把握	—	26	○		
	子育てサークル・サロンの利用状況		現状把握	—	27	○		
	子育て総合支援施設を利用したいか		現状把握	—	28	新規	17	新規
	付問	子育て総合支援施設に求める機能	現状把握	—	28-1	新規	17-1	新規

ニーズ調査票【就学前児童・小学生保護者】調査項目（案）

◀凡例▶

国調査票(例)における必須の質問項目

国調査票(例)における任意の質問項目

国の調査票(例)にない独自の質問項目

大項目	設問内容		分析の視点、項目設定の目的、活用方法	国の調査票	就学前		小学生	
					No.	前回	No.	前回
土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望	土曜日の利用希望・頻度			必須	13 (1)	○		
	日曜・祝日の利用希望・頻度			必須	13 (2)	○		
	付問	たまに利用したい理由		任意	13-1	○		
	幼稚園利用者の長期休暇中の利用希望・頻度		現状把握	必須	14	○		
			幼稚園利用者の長期休暇中の利用ニーズを把握					
病気の際の対応	病気で教育・保育事業が利用できなかったことの有無		病児保育事業ニーズ量算出に活用	必須	16	○	11	新規
	付問	対処方法	病児保育事業ニーズ量算出に活用	必須	16-1	○	11-1	新規
	付問	病児・病後児のための保育施設等の利用希望・頻度	病児保育事業ニーズ量算出に活用	必須	16-2	○	11-2	新規
	付問	(非利用者) 利用したいと思わない理由	現状把握 利用したいと思わない理由を把握し、今後の事業実施に活用	任意	16-3	○	11-3	新規
不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	不定期に利用している事業の状況・頻度		一時預かり事業ニーズ量の算出に活用	必須	17	○		
	付問	(非利用者) 現在利用していない理由	現状把握	任意	17-1	○		
	不定期に利用する必要がある事業の有無・利用希望日数		一時預かり事業ニーズ量の算出に活用	必須	18	○		
	泊まりがけで家族以外に看てもらった必要があったかと、その際の対処方法		子育て短期支援事業(ショートステイ) ニーズ算出に活用	必須	19	○		
小学校就学後の放課後の過ごし方	放課後の居場所・頻度		放課後児童クラブニーズ量算出、放課後の過ごし方の把握に活用	必須	20	○	12	○
	付問	土曜日の放課後児童クラブの利用希望・頻度	現状把握	任意			13 (1)	○
	付問	日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望・頻度	現状把握	任意			13 (2)	○
	付問	長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望・頻度	現状把握	任意			13 (3)	○
	付問	放課後児童クラブの満足度	現状把握	—			14	○
	付問	放課後児童クラブへの希望	現状把握	—			15	○
職場の両立支援制度	父母の育児休業の取得状況		現状把握 育児休業の取得状況について把握	任意	15	○		
	付問	育児休業後の職場復帰までの期間(実際/希望)	現状把握 実際と希望の乖離状況を分析	任意	15-1	○		
	付問	希望時に職場復帰しなかった理由	現状把握 職場復帰がうまくできない理由を把握	任意	15-2	○		
子育て施策等	理想と現実の子どもの人数		理想と現実の乖離状況を分析	—	29	○	18	○
	理想よりも現実の子どもの数が少ない理由		現状把握 子どもの数が増やせない理由を把握	—	29-1	○	18-1	○
	東広島市は子育てがしやすいまちか		現状把握	—	30	○	19	○
	付問	子育てしやすいと感じる理由	現状把握	—	30-1	新規	19-1	新規
	今以上子育てしやすいまちであるために求めること		現状把握	—	31	新規	20	新規
	普段の子連れ移動での自動車利用の有無		移動に関する現状把握	—	32	新規	21	新規
	付問	子連れでの公共交通機関利用に困ること	移動に関する現状把握	—	32-1	新規	21-1	新規
	子育てが地域の人々に支えられていると思うか		現状把握	—	33	○	22	○
	子育ては楽しいか		現状把握	—	34	○	23	○
	子育てに関する不安感や負担		現状把握	—	35	○	24	○
	子どもの家庭での過ごし方		現状把握	—	36	新規	25	新規
	平日に子どもと接する時間		現状把握	—	37	新規	26	新規
	地域での付き合いの程度		現状把握	—	38	○	27	○
	子育ての悩みや気になること		現状把握	—	41	○	30	○
	子育て情報の入手方法		現状把握	—	42	○	31	○
	子育て情報入手の充実度		現状把握	—	43	○	32	○
	付問	不足している情報	現状把握	—	43-1	○	32-1	○
	子どもの健康づくりの満足度		現状把握	—	44 (1)	○	33	○
	産前産後のお母さんの健康づくりの満足度		現状把握	—	44 (2)	○		
	付問	不満の理由	現状把握	—	44-1	○	33-1	○

ニーズ調査票【就学前児童・小学生保護者】調査項目（案）

《凡例》

国調査票(例)における必須の質問項目

国調査票(例)における任意の質問項目

国の調査票(例)にない独自の質問項目

大項目	設問内容		分析の視点、項目設定の目的、活用方法	国の調査票	就学前		小学生	
					No.	前回	No.	前回
子育て施策等	教育保育事業の満足度		現状把握	—	45 (1)	○		
	一時的な保育事業の満足度		現状把握	—	45 (2)	○		
	付問	満足していない理由	現状把握	—	45-1	○		
	仕事と子育ての両立に大変だと感じること		現状把握	—	46	新規	34	新規
	仕事と子育ての両立に向けて取り組んでほしいこと		現状把握	—	47	新規	35	新規
	子どもが様々な体験を行える環境の満足度		現状把握	—	48	○	36	○
	子どもを参加させたい場		現状把握	—	49	○	37	○
	市における子育ての環境や支援の満足度		満足度の把握 満足度別の状況について分析、経年比較	任意	50	○	38	○
自由意見	子育てに関する自由意見		カテゴリー別の集約を想定	任意	51	○	39	○